

編集後記

研究室短信

『社会学ジャーナル』48号を刊行することになりました。旧専攻から国際公共政策学位プログラムへの組織改編にともなう研究室内外の環境変容や、人文社会学系の「紀要」の存在意義そのものが問い返される逆風のなかで、創刊から間もなく50号を迎えようとする『社会学ジャーナル』が果たしてきた学術的貢献と研究者養成の歴史的蓄積は、ここに来てあらためて学域・学位プログラム全体のなかで高い評価を得るようになっていきます。本誌がいちはやく査読体制を完備し、その運用にあたって厳格な基準を順守してきたことを反映しているものと思われます。今回も4本の原著論文の投稿があったうち、掲載に至ったのは2本のみ、1本は研究ノートとしての掲載が認められましたが、残る1本は研究ノートとしても掲載不可という結果となりました。院生の論文生産性の向上が強く求められるなかではありますが、本誌の学術雑誌としての水準を維持するために必要な措置でもあります。投稿を試みる院生諸氏の奮起と、教員による指導のさらなる充実とが求められるところです。

2023年3月末に奥山敏雄先生が退職されます。学類・大学院において医療社会学や組織社会学を中心に、学生指導と研究者養成に多大な貢献を果たされました。大学運営の点でも、国際公共政策専攻長をはじめとする重責を担われるなかで、難しい局面での理性的で的確なご判断やバランス感覚にあふれたご指摘・ご配慮の数々は、社会学研究室にとって欠かすことのできない拠り所であり続けました。長年にわたるご尽力に感謝申し上げるとともに、今後のご健康とご活躍をお祈り申し上げます。

他方、2022年4月から、社会学研究室の新しいスタッフとして、鈴木彩加准教授が着任しました。ジェンダー研究・社会運動論の研究者が加わり、新風が吹き込まれたことで、スタッフ一同さらなる研究・教育の水準向上に向けて取り組んでいく所存です。

大学院人文社会科学研究科国際公共政策専攻社会学分野における修士論文の提出者と題目は以下の通りです。

馬 榕澤 「中国社会における恋愛関係の変容について——PUA 授業に参加する男性の視点から——」

大学院人文社会科学研究群国際公共政策学位プログラム社会学分野における修士論文の提出者と題目は以下の通りです。

- 阿部 竜也 「自分とは何者か」と問う人たちの社会学的研究—朝井リョウ著作『何者』に寄せられたブログ記事から考える—」
- 劉 嘉偉 「中国社会における「パンク養生」に対する社会学的研究」
- 室久 健 「「早期離職問題」はなぜ語られるのか——新聞における早期離職言説分析」
- CHEN YATING 「中国の教師における「献身的教師像」の現在—教師の語りから見る—」
- 韓 盧莉 「現代中国における一人っ子世代の男性の晩婚化現象—「男らしさ」に注目して—」
- ZHOU LINHUI 「生活困窮世帯の子どもの学習支援における「居場所」の概念分析」
- 魏 琳 「公立学校における在日外国人児童への教育支援に関する社会学的研究——外国籍の日本語指導補助員の学校参入をめぐる—」
- 菱沼 香織 「現代日本の教育システムが部活動に及ぼす影響は何か」
- 宗形 星虎 「ICT教育における小学校教員の「問題」意識」
- 張 景茜 「現代中国社会におけるジェンダー対立と女性コミュニティの形成——Weibo（微博）における「唐山で女性が集団暴行された事件」の議論に着目して——」

社会・国際学群社会学類社会学主専攻における卒業論文の題目は以下の通りです。

- 「円形脱毛症はいかにして語られてきたのか」
- 「発達障害当事者のアイデンティティ管理の困難と克服のための工夫」
- 「デジタルネイティブ世代の童貞に対する意識」
- 「新聞報道に見る日本の”安楽死”」
- 「痴漢に対する意識とジェンダー」
- 「A Comparative Case Study of Lookism Through the Lens of Eating Establishments in Japan and Germany」
- 「人生の伴走者としてのアイドル」
- 「女性のプロ野球ファン”のアイデンティティの構築」
- 「市民共同発電事業の課題と今後の展望」
- 「現代日本社会でなぜ喫煙者は居場所を失いつつあるのか」
- 「「男性優位のお笑い界」に必要な革命とは」
- 「NPOと自治体の「協働」に関する社会学的研究」
- 「吃音者の様々な社会関係における吃音経験と受容」
- 「「当事者性」をめぐる社会的養護当事者団体の変容」
- 「「演劇」による関係人口創出の可能性」

- 「コンパクトシティ化をめぐる政治過程と市民意識」
- 「国家事業としての南極観測のイメージ変容と受容背景に関する考察」
- 「現代の移りゆく神社と多様化する参詣のかたち」
- 「近代における若者の承認欲求について」
- 「日本における若年層の自殺率の高さについて」
- 「総合型地域スポーツクラブにおけるスポーツ活動の意義」
- 「日本メディアにおける中国人の表象」
- 「きょうだい出生順位とリスク態度の関係に関するゲーム理論実験と社会学的考察」
- 「技能実習生から見た日本の産業構造」
- 「母親にとっての自室を持たないという経験」
- 「少年マンガにおける女性作家の台頭と戦略」
- 「大規模再開発後の下北沢におけるまちづくりの主体」
- 「ソーシャルワークにおける専門性と素人性」
- 「現代人はなぜ自己肯定感が低下しているのか」
- 「生活困窮者支援における〈問題解決〉の技法」
- 「マッチングアプリの流行と人々の「出会い系」への意識」
- 「ジャン＝ジャック・ルソーにおける〈幸福〉の概念とそのアクチュアリティ」
- 「摂食障害の回復者兼「専門家」による〈回復〉サポート」
- 「見た目問題当事者の生きづらさ」
- 「若者と理念型活動の定着」
- 「軽度身体障害者のアイデンティティ管理」
- 「毒親」語りの社会学的考察」
- 「医学モデル／社会モデル」の二分法を問い直す」
- 「男女別部活動の女子マネージャーとの比較を通してみる」
- 「男女混合部活動の女子マネージャーの役割期待」

令和4年度社会学研究室の各教員の学類および大学院において開設した授業科目は以下の通りです（社会学類／大学院国際公共政策学位プログラム）。

全教員＝社会学の最前線，社会学の最前線チュートリアル，卒業論文演習，卒業論文／社会学基礎理論A，国際公共政策リサーチワークショップA・B，国際公共政策プロジェクト演習A・B

五十嵐泰正＝環境社会学，都市社会学，社会学研究法A，社会学調査実習Ⅱa／国際公共政策論，都市社会学，都市社会学演習，地域社会学特別演習Ⅰ・Ⅱ

ウラノ・エジソン・ヨシアキ＝Public Policy，社会学演習Ⅷa／国際公共政策論，地域研究論，国際社会政策論A，国際社会政策論演習A，国

際社会政策論特別演習 B I・II

- 奥山 敏雄 = 社会学基礎論, 社会学研究法 B, 社会学演習 II a / 医療社会学 A, 医療社会学演習 A, 医療社会学特別演習 B I・II
- 葛山 泰央 = 知識社会学, 社会学研究法 B, 社会学演習 III a / 社会意識論 A, 社会意識論演習 A, 社会意識論特別演習 B I・II, 歴史社会学演習, 歴史社会学特別演習 II
- 鈴木 彩加 = ジェンダー社会論, 社会学研究法 A, 社会学演習 I a /
- 土井 隆義 = 現代社会論, 社会学演習 VII a / 社会病理学, 社会病理学演習, 社会問題論特別演習 I・II
- 黄 順姫 = 文化社会学, 社会学演習 V a / ジェンダー社会論, ジェンダー社会論演習, 教育社会学特別演習 I・II
- 森 直人 = 社会階層論, 社会学演習 IX a / 社会階層論 A, 社会階層論演習 A, 社会階層論特別演習 A I・II

このほか, 他専攻にご所属の先生方 (敬称略) により, 学類共通科目として, 以下の授業科目をご担当いただきました。

- 海後 宗男 = メディア・コミュニケーション論
- 鴨志田公男 = ジャーナリズム特別演習
- 清水 諭 = スポーツ社会学
- 下竹 亮志 = スポーツ社会学
- 白戸健一郎 = 情報文化概論
- 寺内 大左 = 文化・開発論
- 芳賀 和樹 = 農村社会学
- 山本 英弘 = 政治社会学

今年度非常勤講師として, 以下の先生方 (敬称略) にご出講いただきました。篤くお礼申し上げます。

- 村上 道夫 = 環境社会学
- 小松 理虔 = 環境社会学
- 安東 量子 = 環境社会学
- 内藤 航 = 環境社会学
- 林 岳彦 = 環境社会学

[以上, 社会学類]

- 樽川 典子 = 社会調査方法論 A, 社会調査方法論演習 A
- 野上 元 = 歴史社会学, 歴史社会学特別演習 I

[以上, 大学院国際公共政策学位プログラム]